

障がいのある人と共に考える防災ワークショップ 青森開催

クロスロードゲーム想定

- 下北半島で直下型地震が発生
- 2015年2月3日（火）15:00、東通原子力発電所敷地内にある活断層を震源とする巨大地震が発生し、東通村で震度6強を観測。県内各所に強い揺れが襲いました。
- 青森市では液状化、噴砂や地盤流動、地盤沈下が発生。自宅・事業所が倒壊する危険があります。
- 電気、水道、ガス、通信という都市インフラがすべてストップし、情報が錯綜。ガソリン、灯油やさまざまな生活物資の供給不足が発生。
- 除雪能力の低下によって、幹線道路以外の道路が走行困難に。
- 東通原発で原子炉の運転中に、地震の影響により送電線事故が生じ、外部電源が喪失し、原子炉が自動停止。全電源停止から原子炉注水機能も停止。
- 約〇〇時間後放射性物質が漏えい。

問1 地震により建物倒壊の恐れ

- 強い揺れにより、自宅（事業所）の窓ガラスは割れ、石膏ボードの天井や照明器具が落ちてきました。壁や床には亀裂が走っています。棚や机からは物が落ち、足の踏み場もない状況です。
- 余震が続く状況で、このままでは建物倒壊や家具の下敷きの心配があります。
- 自宅には一人きりです。
（事業所には帰宅前の利用者が大勢います。）
- 徒歩で30分のところに指定避難所があり、避難することになりました。

グループ1	YES 8
<ul style="list-style-type: none">• 倒壊の危険を考えたら、動ける状況のうちに動きたい。他の職員と協力して、車椅子利用者をそりなどに乗せ、移動させることが可能だと思う。ただ、（想定）火曜日以外だと動けるかどうか分からない。• 建物が壊れて怪我するのを避けたいので、歩いて避難する。• まず避難し、状況をつかんでから行動を考える。• すでに危険な状態なので、「自分の身を守る」ため、二次被害を防ぐために、避難する。• 少しでも生きたいという思いがある。避難できるならしたい。• 自分の命が大切なので。• 強い地震の後は必ず強い余震がある。建物が危険な状態であるので、まずその場から離れることが大事だと思う。• とりあえず一般的な行動だから。	
グループ1	NO 0
なし	
話し合いの中で出た意見	
<ul style="list-style-type: none">• 上司の指示に従う。• まずは自分の安全の確保。• 避難所は障がい者にはハードルが高い。入れる保証が無いので、雪道を30分も移動するより、他の避難の仕方・場所を普段から考えておいた方がいい。• 身近なところでは、車に避難するのがいいのでは。• 家の中に留まる方が布団・食料も安心できるので、安全な部屋を1つ確保して留まる方がいいこともある。	

グループ 2	YES 2
<ul style="list-style-type: none"> • 仕事で職場にいる日。利用者を安全な場所に避難させた後、自分も避難する。 • 1人じゃ危ないし、建物が崩れるかもしれないから。 	
グループ 2	NO 5
<ul style="list-style-type: none"> • 仕事なので利用者、職員の状況を確認する。 • 足に障害があるので30分もかかる避難所まで歩けない。 • 事務所には40名の利用者がある。徒歩30分の指定避難所に40名を誘導するのは大変。 • まず周りの様子確かめる。助けることも。 • 自宅にいる。1人で動けないから。 	
話し合いの中で出た意見	
<ul style="list-style-type: none"> • 避難所ではなく、通所しているデイサービスに行く。 • 障害があり、役所の人に来るようになっていたため、それまでは動かない。 • 勤務時間は利用者の安否確認をしなくてはならない。 	

グループ 3	YES 3
<ul style="list-style-type: none"> • 壁や床に亀裂が入っていて、いつ倒壊するか分からない。 • 情報を得る為（集会所等へ行き情報を得る）。 • 一人でジッとしているのは耐えられない。 • 早く行動した方が身を守る事に繋がる。 • 一人でいると恐怖で何をどうして良いのか分からずパニックになりそう。 	
グループ 3	NO 4
<ul style="list-style-type: none"> • 建物の状況を支社に報告（業務の為）。 • お客様の安全が第一。 • 外へ出るとトイレが不安。 • 大勢の人がいる所へ行きたくないし、居たくない。 • 今の時期だと車椅子で外の移動は雪が多く難しい。 • 利用者の介助がある。 	
話し合いの中で出た意見	
<ul style="list-style-type: none"> • 避難所が車椅子等に対応できる設備になっていない。 • 3.11地震以降、青森では反射板ストーブを持つ家庭が増えた。 • 青森は土地柄、都市ガスの家庭よりプロパンガスの家庭が多い為、ガスは使える。 • 3.11地震の際は、電気の復旧は早かった（病院や変電所の付近は特に早い）。 	

グループ4	YES 4
<ul style="list-style-type: none"> • 情報を得るため避難する。 • 知らない人のところ、避難所ではなく、知っている人のところに避難する。津波が来る前に避難する。 • 家族で決めているので。 • 余震で倒壊する恐れがあるので、周りの人に声をかけながら避難する。 	
グループ4	NO 3
<ul style="list-style-type: none"> • 徒歩 30 分は遠すぎる。避難を誘導してくれる人がいない。 • 車椅子での雪道移動はリスクが高い。避難所生活が不安。 • 時間的に訪問介護中なので利用者の様子を見に行く。 	
話し合いの中で出た意見	
<ul style="list-style-type: none"> • 避難所になることが多い学校は土日開いていない。鍵は校長が持っているが、他に鍵を持っている人がいないか確認しておくべき。 • 避難所に何日分の備蓄があるか知っておくことが大事。 • 避難は一人ではなく知り合い同士（介助者やその家族も含む）でする。 • 薬手帳を持っていた方がいい。 	

問2 原発事故による避難について

- 東通原発事故により放出された放射性物質が青森市まで到達。避難指示（屋内退避）が出されました。
- 近隣住民は続々と車での移動を開始し、幹線道路の渋滞が始まっています。ガソリン不足のため、自力での広域避難が難しい状態です。
- 翌日には自治体が用意した最後のバスが出ます。移動時間にどのくらいかかるか、どこの避難所に向かうのか、何回避難が必要なかわかりません。
- 家族会議の結果、どのような困難が待ち受けているのかわからないため、避難せずに残る決断をしました。（施設では、放射能防護機能のある部屋に利用者を移動させました。）

グループ1	YES 6
<ul style="list-style-type: none"> • 立场上残る。 • どんな困難が待っているかわからないなら、避難しない方が自分の思い通りになるような気がするし、最後のバスに乗れるかもわからない。自分が決めたことなら納得できる。車椅子も荷物になるし、自分1人では避難できない。 • 避難しても十分な保障を受けるを受けることが出来るかわからないので。 • 危険性を呈して指示が出ているので「命優先」で避難指示に従う。不安でいるよりみんなと一緒に一日一日を過ごしたい。 • 色々情報が入り乱れて、現状の把握は難しいので、ここは家族で決めたことを重んじる。 • 利用者の意思、家族との連絡しだいで、動きが分かれると思う。 	
グループ1	NO 2
<ul style="list-style-type: none"> • 自分の安全のため、市のバスに乗ります。 • やっぱり命が大切なので避難したい。 	
話し合いの中で出た意見	
<ul style="list-style-type: none"> • どこに行くかわからない等、心身ともに疲れ、関連死へとつながっていくことも。 • 安全じゃなくても、心が落ち着ける自分の家や住み慣れた土地でとどまる方が良いことも。 • 放射能の心配の場合、とんでもなく離れたところまで行けないのなら、どこにいても変わらないかも。 	

グループ 2	YES 5
<ul style="list-style-type: none"> • 職場にいる日。事務所の指示に従う。単独行動は出来ない。 • 困難があると思うが、避難せず残る。 • 危険が増大するならその後もバスは出せると思うので。 • 60Km 離れているので大丈夫だと思う。万が一があっても、放射能で苦しまないで死にたい。もう年なので。 • 事務所の指示に従う。自分が決めることではないので。自分勝手な行動をすると混乱すると思うから。 	
グループ 2	NO 2
<ul style="list-style-type: none"> • 動いて生きるための行動をとる。 	
話し合いの中で出た意見	
<ul style="list-style-type: none"> • どこに行くのか分からない、道中何があるか分からないので、動かずとどまった方が安心。 	

グループ 3	YES 7
<ul style="list-style-type: none"> • 事業所の指示に従い業務を行う。 • 利用されている方の対応を考えると残らざる負えない。 • 家族と離れたくない。 • 咄嗟の判断はせずに残る、その後、改めて考える。 • 外に出ると不便な事が目に見えているから。 • 屋内退避であれば可能な限り残る。 	
グループ 3	NO 0
なし	
話し合いの中で出た意見	
<ul style="list-style-type: none"> • 業務中であれば事業所の指示に従うが業務時間外であれば自分の命が大事なので逃げる。 	

グループ 4	YES 5
<ul style="list-style-type: none"> • 行き先が分からないと不安。ガソリンが確保できたら実家の弘前に避難する。 • 知らないところに行くのは不安。 • バスに乗って逃げるのは無理。 • 移動困難なため住み慣れない所には行きたくない。 • 息子が車椅子なので自家用でなければ移動できない。 	
グループ 4	NO 2
<ul style="list-style-type: none"> • 放射能は終わりの見えない恐怖。数時間の移動かもしれないが、何日間も放射能にさらされる方が危険。 • 原発避難は遠くに逃げるのが基本。 	
話し合いの中で出た意見	
<ul style="list-style-type: none"> • ガソリンが 1/2 になったら給油するようにしている。 • 渋滞が緩和されるので、逃げるのは夜がいい。 • 電動車椅子はバッテリー切れがあるため、手動車椅子で避難すべき。 • 携帯電話はスマートフォンの方がつながりやすい。電話は黒電話。 • 避難しないと助けに行った人が被災する恐れがあるので、避難がベスト。そのため、避難所を良くしていく必要がある。 	

■クロスロードゲーム集計結果

グループ	問 1		問 2		問 3	
	YES	NO	YES	NO	YES	NO
A	8	0	6	2		
B	2	5	5	2		
C	3	4	7	0		
D	4	3	5	2		
E						
合計	17	12	23	6		